

# 議会広報

# いえもん



- ◆一般質問 ..... P2
- ◆議決結果・意見書 ..... P7・8
- ◆要請行動 ..... P9
- ◆議会傍聴 ..... P10
- ◆研修報告 ..... P10
- ◆議会活動 ..... P11
- ◆ワッタウムイ特別編 ..... P12
- ◆ワッタウムイ ..... P14
- ◆“みんなの声”聞いてみました ..... P15
- ◆題字提供はこの方 ..... P16



議会広報

# いえもん

第156号  
平成29年3月1日

発行／伊江村議会  
TEL:0980-49-2924  
編集・印刷／(有)サン・エス  
TEL:098-889-7421



#### 題字執筆者紹介

山城俊子さん(昭和10年4月1日生まれ満81歳)  
在宅からデイサービスを利用されています。  
来苑し、入浴や機能訓練を済ませた後は塗り絵、モヤシのヒゲ摘み、チラシでゴミ箱作りなど同じテーブルの皆さんと一緒に楽しくしながら楽しそうに過ごされています。  
題字をお願いしたところ、「んばーねどう」とおっしゃりながらも、サラサラと書いて下さいました。



**仲宗根清夫議員 お疲れさまでした**

1月31日付で辞職いたしました。議員として6年余、村民の方々には大変お世話になりました。今後も伊江村の発展の為に頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。




▲仲宗根清夫議員

▲1月31日付で辞職許可書を交付する

#### どうぞ傍聴席へ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。



TEL 0980-49-2924(直通)

#### 編集後記

本紙の広報委員は研修等も重ね、多くの村民が手に取り読みやすく、わかりやすい興味の持てる紙面作りに取組んでおります。文字数に限りがある中で「題字」のわーどうはちゃんと、「ワッタウムイ」・「みんなの声を聞いてみました」等、身近なニュース等もお届けしますので情報提供お願いします。

広報委員 渡久地 政雄





議決の結果			平成28年第8回定例会		
議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果	
議案第79号	平成28年度伊江村一般会計補正予算(第4号)	村長	12月15日	原案可決	
議案第80号	平成28年度伊江村診療所特別会計補正予算(第4号)	村長	12月15日	原案可決	
議案第81号	平成28年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	村長	12月15日	原案可決	
議案第82号	平成28年度伊江村水道事業会計補正予算(第4号)	村長	12月15日	原案可決	
議案第83号	ミースィ公園整備工事の請負契約の変更	村長	12月15日	原案可決	
議案第84号	伊江村再生可能エネルギー等導入推進基金条例の制定	村長	12月15日	原案可決	
意見書第8号	地方議會議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	議員	12月15日	原案可決	

議決の結果			平成28年第9回臨時会		
議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果	
意見第9号	米海兵隊垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイ墜落事故に対する意見書	議員	12月22日	原案可決	
決議第5号	米海兵隊垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイ墜落事故に対する抗議決議	議員	12月22日	原案可決	

## 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

しかしながら、昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが、議員を支える新たな人材確保につながっていくと考える

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を目指す実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 28 年 12 月 15 日  
沖縄県国頭郡伊江村議会

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官  
財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

# F-35Bステルス戦闘機着艦訓練場建設 の着工に対する村の対応について



問　去つた9月定例議会で村長は、「具体的な工事概要等の説明がないままの工事は中止を求めてきたところであり、工事の中止を求めている立場に変わりはない」としつつ、実際に工事が着工されている現状で、今後の工事に係る工事用車両等に影響が懸念されることから、住民生活に支障を来さないよう米軍及び請負業者への申し入れを要請している「同機の運用等により基地負担を増大させないよう取り組んでいただくよう要請している」との答弁を行いました。そこで質問します。

①訓練場強化・拡張工事の完了は、来年9月の予定と報道されておりますが、工事

の図面、工程表等は村に示されているのでしょうか。図面、工程表等があるのならば公表できませんか。

(2) 11月に入つてから始まつた砂利運搬について、12月1日付「しんぶん赤旗」は、一面で「砂利運搬過積載か」の見出しをつけ写真入りで報道しました。翌日2日付沖縄タイムスは「伊江で過積載横行」「米軍着陸帯工事」が業者指導の見出しがあります。村はマスコミの報道があつて以後、業者への指導を行つておりますが、その理由は何ですか。

現在行われているMV-22オスプレイの訓練でさえ当初示された飛行ルートを守らざりたい放題の訓練が行われています。基地負担の増大につながらない保証はあると考えておられるのかさらに伺います。

④去った9月議会では、3連協との連携についても質問しました。その後協議はしたのかどうか。基地問題について質問をします。

及び建設資材等の積込み運搬について適切に対応するよう促したところであります。今後も大型工事等による資材運搬等に對して警察と連携して適切に対処してまいりたい。

③オスプレイの配備計画の見直し及び、CV-22オスプレイの訓練等により基地負担を増大させないよう、沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会と連携して日米両政府に要請書を提出しているところであり、今後もこのスタンスを堅持していく所存でございます。

F-35Bについては、岩国飛行場に配備する説明はございますが、同機の運用については、日米間で協議し

納飛行場に関する三市町連絡協議会の会長・野国北谷町長とお会いする機会がございましたので、担当者レベルでの調整会議等の実施について、意見交換をしております。その後、担当者間で情報交換を行い、三連協幹事会において本村と積極的に情報交換など連携を密にして、必要に応じ合同会議等を開催していくことが確認をされております。今後とも、沖縄県、関係自治体と緊密な連携を図りながら、情報の共有化に取り組んでいきたい。

その他 ホームいえしまへの財政支援について』の質問がありました。

※一般質問の詳しい内容については、公民館またはホームページの議事録をご覧ください。

## MV-22オスプレイ墜落事故に伴う意見書を沖縄防衛局へ提出



▲12/26全議員により意見書を提出



▲沖縄防衛局長へ意見書を受け渡す

## 議員による要請行動

平成28年12月26日、米海兵隊垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイに伴う意見書を全議員で沖縄防衛局へ提出しました。また、再三要請したのにも関わらず平成29年1月10日に提供施設外にパラシュート落下事故が発生し、1月13日、島袋村長と共に沖縄防衛局へ事故の再発防止を申し入れた。

## パラシュート降下事故に伴う要請



▲提供地外への落下直後の様子



▲事故の再発防止を申し入れる

## 米海兵隊垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイ 墜落事故に対する意見書

平成28年12月13日午後9時30分頃、沖縄本島東海岸から約80メートル離れた名護市安部沖の浅瀬に米軍普天間飛行場所属の海兵隊垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイが訓練中に墜落し、大破するという重大な事故が発生した。

日米両政府は、県民の強い反対にもかかわらず普天間基地に同型機24機を強行配備し、これまで県民の爆音被害と墜落の不安を与えてきたが、その不安が現実になった。墜落事故が県内で起こったことに対し、県民は激しい怒りを覚え強い衝撃をうけている。

また、事故機とは別に同日午後11時30分頃に普天間飛行場へ帰還した際に、胴体着陸が確認され、2機のオスプレイが重大事故を起こしていたことが判明した。

一連の事故発生に対し、ワーレンス・ニコルソン四軍調整官は、「事故機は普天間飛行場までの帰還を試みたが、帰還不可能との判断により民間地域を避け海上に不時着させた」としてパイロットの判断を称賛し、「被害を与えず感謝されるべき」と発言をしている。墜落事故は絶対あってはならないことであり、米軍の占領意識丸出しの姿勢と言わざるを得ない。さらに、今回も米軍は事故現場を規制し、日米地位協定第17条により調査すべき日本の機関が近寄れない事態が惹起している。

このような安全確保が出来ない状況下で、米軍が垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイ吊り下げ訓練を地域住民の強い反対にもかかわらず強行する傍若無人な行為は、まさに県民の生命と財産を軽視するものであり、断じて許されるものではない。

よって、伊江村議会は村民の生命、財産、安全を守る立場から米軍及び関係当局に対し厳重に抗議するとともに、下記事項について強く要求する。

### 記

1. MV-22オスプレイの墜落事故原因の徹底究明と情報を公開すること。
2. MV-22オスプレイの飛行中止をすること。
3. MV-22オスプレイの配備を即時撤回すること。
4. 在沖米軍基地の整理・縮小と日米地位協定を抜本的に見直すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月22日  
沖縄県国頭郡伊江村議会

あて先  
内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣  
沖縄防衛局長、外務省特命全権大使（沖縄担当）

※米軍関係機関への抗議決議も可決した。

## 議会の活動

平成28年12月

- 1日:県町村議会議長会年末懇談会(議長)
- 2日:北部市町村議長会理事会・総会(議長)
- 3日:基地負担を考える沖縄協議会(議長)
- 3日:西小学校学習発表会
- 4日:伊江小学校学習発表会
- 7日:たばこ振興会総会(議長)



▲伊江小学校学習発表会にて村踊を演じる

- 7日:土地改良区総代選挙当選証付式(議長)
- 14日・15日:第8回12月定例議会
- 19日:北部地域における基幹病院整備に関する意見交換会(議長)
- 22日:第9回臨時議会
- 25日:第5回ハイビスカップ小中生ゴルフ伊江島大会(議長)
- 26日:沖縄防衛局へ抗議行動(全議)



▲第5回ハイビスカップ小中生ゴルフ伊江島大会優勝者

平成29年1月

- 4日:平成29年成人式(全議)
- 4日:新年交歓会(全議)
- 6日:消防出初式(全議)
- 7日:第15回少年野球伊江島交流試合(議長)
- 10日:伊江村観光協会新年会(議長)
- 12日:平成29年JAおきなわ北部地区新春の集い(議長)
- 13日:沖縄防衛局へ抗議行動(議長)
- 14日:民俗芸能保存会結成40周年記念誌発刊祝賀会(全議)
- 15日:初セリ(全議)
- 17日:国・県出先機関の長及び関係団体等と北部市町村との「新年会」(議長・副議長)
- 18日:かんがい用水の散水式・祝賀会(全議)
- 19日:全員協議会

- 20日~22日:いめんしより 伊江島んかい 観光・物産と芸能フェア(全議)
- 30日:海外移住者子弟研修生歓迎会(議長)



▲平成29年成人式(平成8年生まれの成人51名出席しました)

2月

- 3日:県立中部病院研修事業開始 50周年記念講演会(議長)
- 12日:イージマチューバンジャまつり2017(全議員)
- 14日:村健康づくり推進協議会(議長)
- 17日:山城清重氏・(有)タマレンタ企画合同祝賀会(全議)
- 20日:広報委員会
- 21日:県町村議会理事会・総会(議長)
- 22日:県離島振興市町村議会定期総会・研修会
- 23日:県町村議会議員・事務局職員研修会(全議)
- 25日:ハイビスカス協会総会(議長)
- 26日:学力向上推進実践報告会(全議)



▲イージマチューバンジャまつり2017 オープニング

# 議会を傍聴しました!

第8回定例会(平成28年12月14・15日)初日には、伊江中3年生、伊江小6年生の皆さんが議会を傍聴しました。感想文の一部を紹介したいと思います。



▲伊江小6年生の皆さん



▲伊江小6年生と伊江中3年生傍聴の様子



▲真剣な眼差しの生徒たち

### 「伊江村を良くするために頑張ってください」

伊江小学校 6年 玉城 志将  
たましろむねゆき  
議会では、沿道の花をどのような計画で植えるのか、フェリーを新しくするかを話し合っていました。ぼくは議会の話を聞いて議員さんや議長さん、村長さんが伊江村を良くするために、いろんな考えを持っているんだなと思いました。議会の後に議長席や村長席に座りましたが全体を見渡せて偉くなつた気になりました。これからも伊江村を良くするために頑張ってください。

### 「いろいろな役割があった」

伊江小学校 6年 下門 姫華  
しもじょうひめか  
私が議会見学して学んだことは、議長と村長では、村長の方が偉いと思っていましたが、両方同じくらい偉い事が分かりました。他にも村長は村を良くするために仕事をする人で、議長は話をまとめることの多い人、議員は村の行事や、お金をどのように使っているか承認する人だということが分かり、いろいろな役割で伊江島を良くしているんだなと思いました。

### 伊江中学校3年生の意見

○今回初めて傍聴して、意味が分からない言葉がたくさんありました。私たち村民のために真剣に会議している事が伝わりました。もっと伊江村の事に関心を持つてみたいと思います。  
○「無料塾の開講について」は、とても身近なことであって、すごい内容がよくわかりました。簡単に実施できることではなく、いつから、どのように、なぜ開講したいなどを教育長だけではなく、村長、副村長の意見も聞いて、ちゃんと決めていかなければならない段階があるんだと知りました。とても貴重な体験ができて良かったです。

その他にも多くの感想が議会へ寄せられました。

## 研修報告

### 4年振りの伊江島の芸能・観光・物産フェア Anlyさん、伊江島観光親善大使に任命

1月20日から22日まで、沖縄タイムス本社において、伊江島の芸能・観光・物産フェアが開催され、3日間で7,770人余の方々が訪れ会場はおおいに盛り上がりました。また、22日には本村出身のシンガーソングライターAnlyさんが、伊江島の観光親善大使に任命されました。これからの活躍も楽しみです。



▲賑わいを見せるタイムスフェア



1月20日~22日



▲活躍が期待されるAnlyさん

# 水がきた～!!



バルブをひねると綺麗な水がでます



左から島袋勝彦さん・和男さん・勝幸さん(3兄弟)



立派なインゲンが実りました



花卉農家も試験利用しています

試験送水中の東江上第一地区にてインゲン栽培をする島袋3兄弟。

「マジニーチンニー(まず見てごらん)、スマリギーサアルアタイヌチュラミジドー(飲めそうなくらいの、きれいな水だぞ)」と配管を外し見せてくれました。

これまで一人で半日灌水に付きっきり状態が、現在ではその時間に管理作業、収穫作業ができ作業が効率化され、きれいな水の灌水でこれまでの防除作業が3分の1程度に減りましたとの事。

また、収穫量も近年700kgだったが、以前の1,000kgの収量が見込めるようになったと嬉しそうに語ってくれました。

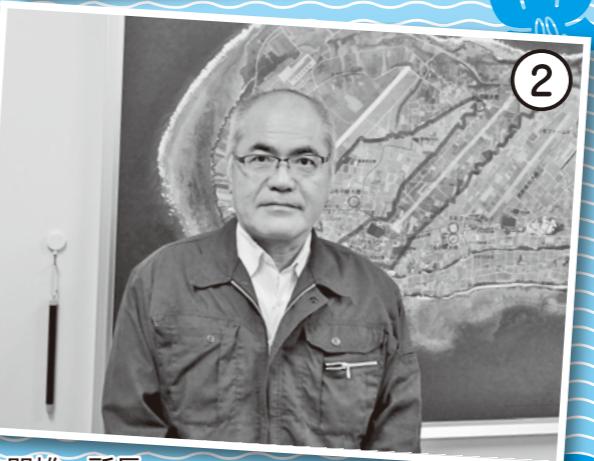
**島袋さんから一言:**  
地下ダムを整備してくださり本当にありがとうございます。これから多くの方が地下ダムを利用するとと思いますが、点滴やスプリンクラー等の灌水設備の補助等があれば助かります。

# ワッカレイ 水あり農業へ

特別編



伊江農業水利事業所最後のメンバーです



仲間雄一所長



散水式でバルブをひねる伊江土地改良区  
理事長の島袋秀幸村長(右端)



完成を喜ぶ皆さん

①平成29年3月末で農業水利事業所は閉所いたします。伊江島の皆様、本当にありがとうございました。

②6代目伊江農業水利事業所「所長の仲間です。これからからの伊江村の農業の発展を楽しみにしています」。

③1月18日、「水なし農業から、水あり農業」へ島の農業が変わっていく第一歩として、かんがい用水の散水式が行われました。

④改善センターホールでの祝賀会。完成を祝い、喜びのパンザイ三唱。

# “みんなの声”聞いてみました

前号から新たな取組みとして、村内の産業や各地域で頑張っている方々にスポットあて、地域の声を掲載しています。第2弾として、セイイカ漁の最盛期を迎えている漁業者の皆さんに聞きました。



セイイカの出荷を行う大城さん

**大城さんからの一言**

船のエンジン整備に資金がかかり漁業者の負担が大きくなっています。今年は、海水温が高くセイイカの漁獲量も少ないので頑張つて漁を行っていきます。これからも漁協青年部を宜しくお願いします。

大城さんは現在39歳で、伊江漁協の青年部長をやっています。今年は、海水温が高くセイイカの漁獲量も少ないので頑張つて漁を行つていいです。これからも漁協青年部を宜しくお願いします。

大城 好人さん  
(東江前区)

集荷に追われる平安山さん

**平安山さんからの一言**

漁港周辺にフェンスが無く内へ簡単に出入りができる、危険なので、漁港周辺をフェンスで囲んで安全対策をして欲しいです。

平安山さんは現在26歳、今年で漁協に働く事8年目です。毎日忙しいですが、皆さんが優しいので楽しく仕事をやつてします。一昨年完成した製氷施設おかげで冷蔵庫や船へ氷を入れる作業がかなり楽になりました。ありがとうございます。今年のセイイカ漁は6月上旬まで続きます。漁師の皆さんのお手伝いを一生懸命頑張つていきたいと思います。

平安山 良さん  
(川平区)

船のメンテナンスを行う宮里さん

**宮里さんからの一言**

5、6年に一回エンジンの乗せ替えるので、売り上げのほとんどがエンジンのメンテナンスに費用がかかり漁業者の負担になっています。一部補助でもあれば本当に助かります。

宮里 忍さん  
(阿良区)

## ワッタウレイ

見事全国ベスト8!

①

左から亀里龍之介君・玉城智浩君・丹羽優也君・崎浜幸多君・仲里研一郎先生

①1月21日、東京TOC有明で開催された全国ロボットコン大会で見事予選を突破しベスト8に進みました。4月から伊江中学校に赴任してきた仲里研一郎先生。「物づくりは人づくり」と生徒たちの指導を行ってきました。1年目から全国へ連れていってくれた生徒たちに感謝しています。

②伊江駐在の山内正樹さん、子供たちのために毎朝あいさつ運動に参加し子供たちを見守っています。

③川平駐在の上原欣也さん、伊江島に赴任して2年、皆さんに優しくしていただいています。これからも伊江駐在と協力し島の安全を守りたいと思います。

## 地域を見守るお巡りさん



雨の日も子供たちを見守る伊江駐在の山内さん



毎朝やさしく見守ってくれている川平駐在の上原さん